

令和8年度予算案のEBPM「児童福祉施設等整備費」

課題データ

児童福祉施設等の在り手は2019年以降例年280万人前後、障害児施設等の在り手は5～6万人弱前後で推移している。我が国における急速な少子化の進行等を踏まえ、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ、育成される環境の整備を図り、次世代育成の推進のための措置を講じる必要がある。
(厚生労働省「令和4年社会福祉施設等調査の概況」)



事業

児童福祉施設等整備費

令和7年度補正予算：94億円
令和8年度当初予算案：72億円

都道府県・市区町村が作成する整備計画に基づく施設の整備を推進し、次世代育成支援対策の充実を図ること等を目的として、児童福祉施設等や障害児施設等の施設整備費を支援する。



※アウトプット、アウトカムの（）内は直近の実績値

EBPM指標

アウトプット

児童福祉施設等や障害児施設等の施設整備実施主体数
(156自治体)

短期 アウトカム

交付決定を受けた実施主体が整備計画に基づき整備を行う施設数
(179施設)

中期 アウトカム

-

長期 アウトカム

児童福祉施設等の適切な整備を通じ、施設を利用する子どもに対して良好な環境を提供することができる

目標

子ども・若者の権利保障と
その視点の尊重、意見聴取と対話

良好な育成環境の提供

すべての子ども・若者の
健やかな成長の保障

結婚・子育てに関する希望の形成と
その実現を阻む隘路の打破

子ども・若者の幸福な生活 / 少子化トレンドを大きく変える / 未来を担う人材の育み